

NIRA FORUM 2023

なぜ、人々の声は政府に届かないのか

人々と政府の意識をつなぐ政策共創

国際社会ではウクライナ情勢、米中対立、国内では、社会保障、財政赤字、そして新型コロナ感染症など、難しい課題が山積している。國家の統治能力次第によって、日本の将来が大きく変わらかねない現実を前に、人々には「なぜ、自分たちの声は政府に届かないのか」という苛立ちがある一方、政府には「なぜ、政策は人々に理解されないのか」という焦りがある。今、私たちに必要なのは、人々と政府の間にある認識の乖離を乗り越え、官民の多様な意識をつなぐ政策共創の場を充実させることだ。本フォーラムでは、日本内外で活躍する民間人、実務家、研究者、行政機関、政策研究機関、そして学生など、多様な知の結集を期待する。

オンライン
同時開催
(Zoomウェビナー)

日時 2023年2月4日 [土] 10:30~12:00(開場10:00)
会場 赤坂インターシティコンファレンス4階「the AIR」

Program

10:30 ~ 基調講演

谷口将紀 東京大学教授／NIRA総研理事長

10:40 ~ 討議

パネリスト

牧島かれん 前デジタル大臣／衆議院議員

宇野重規 東京大学教授

金丸恭文 フューチャー株式会社代表取締役会長兼社長／NIRA総研会長

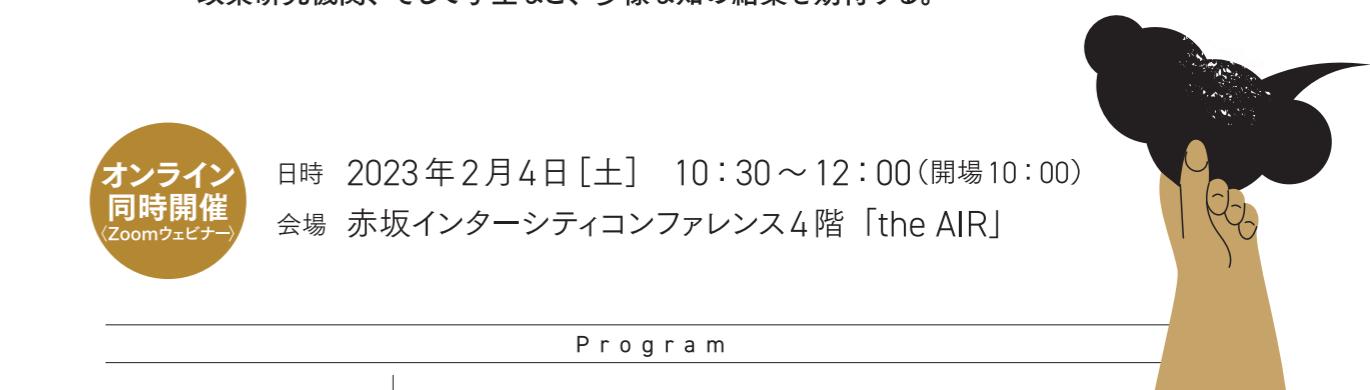
下山紗代子 一般社団法人リンクデータ代表理事

田村哲樹 名古屋大学教授

柳川範之 東京大学教授

モデレーター

谷口将紀 東京大学教授／NIRA総研理事長



※ プログラム、講演内容は事前の予告なく変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

NIRA FORUM 2023

Profile of Speakers



牧島かれん MAKISHIMA Karen
前デジタル大臣／衆議院議員

国際基督教大学大学院行政学研究科博士課程修了。博士（学術）。2012年、第46回衆議院議員選挙において、初当選。現在4期。第三次安倍改造内閣において、内閣府大臣政務官（地方創生・金融・防災担当）を務め、熊本地震の際には、政府現地対策本部長として現場の対応にあたった。第一次岸田内閣、第二次岸田改造内閣において、デジタル大臣、行政改革担当大臣、内閣府特命担当大臣（規制改革）として初入閣。現在、自由民主党デジタル社会推進本部にて幹事長。



宇野重規 UNO Shigeki
東京大学教授／NIRA総研理事

東京大学大学院法学政治学研究科博士課程修了。博士（法学）。専門は西洋政治思想史、政治哲学。千葉大学法経学部助教授などを経て、現職。思想家トクヴィルを中心に、米、仏、日本の民主政治について研究を行う。鶴岡、金石、福井県での地域活動に関わる。著書『トクヴィル——平等と不平等の理論家』（講談社学術文庫、2019年増補改訂版）で2007年サントリー学芸賞、『民主主義とは何か』（講談社現代新書、2020年）で2021年石橋湛山賞を受賞。



金丸恭文 KANEMARU Yasufumi
フューチャー株式会社代表取締役会長兼社長/
NIPA 総研究長

神戸大学工学部卒業後、(株)TKCに入社。1989年フューチャーシステムコンサルティング(株)(現フューチャー(株))を設立。2016年より現職。起業家としての経験を生かし、日本の重要課題の解決に取り組む。経済同友会副代表幹事、内閣府規制改革推進会議、未来投資会議、成長戦略会議、デジタル臨時行政調査会などを歴任。



下山紗代子 SHIMOYAMA Sayoko
一般社団法人リンクデータ代表理事

バイオインフォマティクス系ベンチャー、理化学研究所を経て、2014年にリンクデータを設立。オープンデータ支援プラットフォームを運用し、自治体や市民の地域情報発信を支援。2019年に女性初の政府CIO補佐官に就任。現在はデジタル庁データスペシャリスト、総務省地域情報化アドバイザー等で国や自治体におけるデータ活用の支援や、民間企業におけるデータ活用ビジネスに携わる。Code for Japanをはじめ、シビックテック分野においても幅広く活動。



田村哲樹 TAMURA Tetsuki
名古屋大学教授

名古屋大学大学院法学研究科博士後期課程修了。博士（法学）。専門は政治学、政治理論。名古屋大学大学院法学研究科准教授などを経て、現職。熟議民主主義の研究にライフワークとして取り組む。著書に『熟議民主主義の困難——その乗り越え方の政治理論的考察』（ナカニシヤ出版、2017年）、『ハーバーマスを読む』（共編著、ナカニシヤ出版、2020年）ほか。



谷口将紀 TANIGUCHI Masaki
東京大学教授 / NIRA 総理事長

東京大学法学部卒業後、同大学院法学政治学研究科助手。博士（法學）。専門は政治学、現代日本政治論。スタンフォード大学客員研究员などを経て、現職。市民の熟識と健全な政党政治による2回路型の民主政治の実現を目指す。著書に『ボピュリズムの本質』（共編著、中央公論新社、2018年）、『有権者と政治家——代表制民主政治の実証分析』（東京大学出版会、2020年）ほか。



柳川範之 YANAGAWA Noriyuki

東京大学大学院経済学研究科博士課程修了。博士(経済学)。専門は契約理論、金融契約。慶應義塾大学経済学部専任講師などを経て、現職。金融、AI・IoT、ガバナンスなど幅広い分野について法と経済学の視点から積極的な提言を行う。経済財政諮問会議民間委員。新しい資本主義実現会議有識者委員など。著書『法と企業行動の経済分析』(日本経済新聞出版社、2006年)で第50回日経・経済図書文化賞受賞。



なぜ、人々の声は政府に届かないのか 人々と政府の意識をつなぐ政策共創

- 【注意事項】

 - ・会場内でのビデオ、録音機器、携帯電話等による録音・動画撮影は、固くお断りいたします。
 - ・スクリーン映像を写真撮影された場合、その無断転載・無断複製を禁じます。
 - ・記録用に、会場全体の写真、ステージ上の動画を撮影いたします。撮影した写真及び動画は、ホームページ上での開催報告や、その他の資料として活用する場合があります。
 - ・会場内では携帯電話の電源をお切りいただくか、マナーモードに設定いただきますようお願いいたします。
 - ・体調が悪い時は、スタッフにお声掛けください。